

リサイクル素材を応用した工作キットの開発及び造形ワークショップの企画と実践

造形短期大学部
造形芸術学科
准教授



森下 慎也

研究シーズの紹介

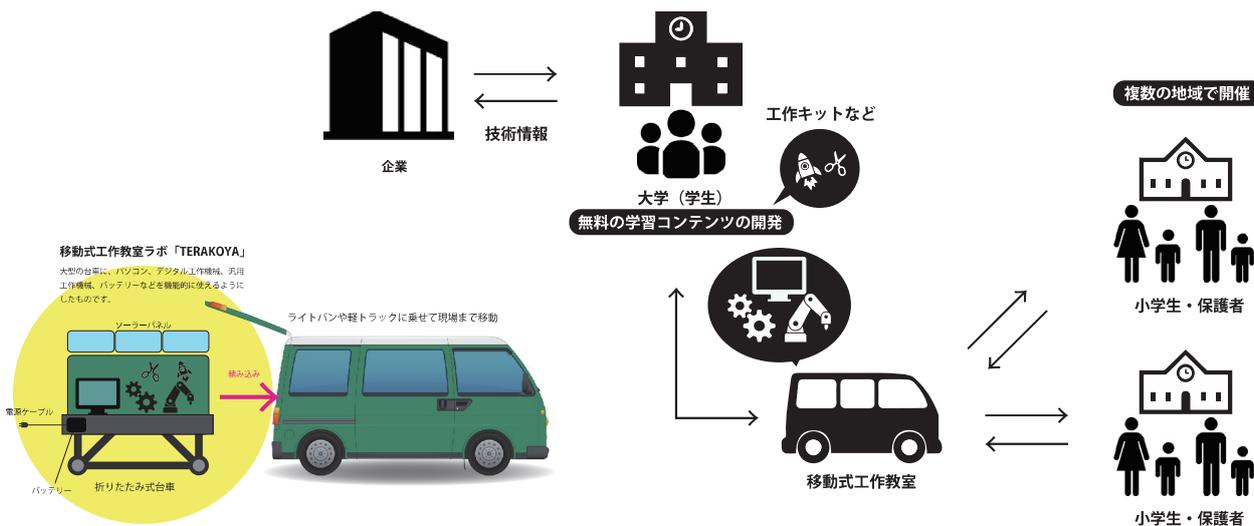
本研究は、企業と連携してリサイクル素材を応用した工作キットの開発を行い、そのキットを造形ワークショップで活用することで、一般の方へ生涯学習機会の提供することを目的としています。造形教育を行う大学の役割として、社会の教育格差是正の取り組みは重要な案件です。そこで、この産学連携の研究を通して、造形教育における想像力を育む理想的

な学習支援プログラムへ導きたいと考えています。また、造形ワークショップの企画として、より多くの教育機会の提供を目指して、移動式工作ラボの制作へと発展させていくことも目標にしています。



ワークショップの実践による教育

- 産学連携で、より実践的な学習と経済的な貢献が可能です。
- リサイクル率の高い素材で、学びのサイクルの精度を上げます。



期待される活用シーン

- 学習イベントを企画したい
- 工作物のアイデアが欲しい
- スタッフが欲しい



産学連携することで効率よくイベント企画を進め、社会のニーズに応えることができる。



- 児童と触れ合う体験がしたい
- イベントの仕事をしたい
- 工作キットの開発がしたい
- 造形教育の経験を積みたい



教室の中だけでは得にくい、現場での実体験の学習をすることができ、就職につながる可能性を得ることができます。



その他の研究テーマ

- 産学連携による能動的な問題発見・解決型教育に関する研究
- 経済的な貧困と教育格差の改善に関する研究